

冬の木を見てみると、葉っぱは全部落ちてしまっただけで、小さな芽がたくさん出ています。寒い冬の間にも、春に花開く準備を着々としているんですね。静かに、内に生命のエネルギーをためて殖やしているから「ふゆ(殖ゆ)」というのです。寒い冬にも負けないで、凛として内に生命をみなぎらせる冬の樹々の姿には、勇気を与えられますね。

【節分】二月三日【立春】二月四日

節分は、季節の変わり目を区切る祭りであると同時に、魂を鎮め、魂の力を増やすという「フユ(殖ゆ・振ゆ)」即ち魂の復活・蘇生の祭りです。『神様の力や靈威にふれることによつて、その力に恩恵を受け』私達の御霊が、殖える「ふゆ」が冬の語源といわれています。冬至から除夜そして節分と続いて、「はる(殖る、開る、春)」を迎えます。

季節の変わり目には、体調を崩したり、災厄が忍び込んだりしやすいので、そんな厄を鬼に見立てて「福は内、鬼は外」と豆まきをして、鬼を払うのです。鬼とは災難厄疫の象徴で、季節の変わり目に起こりがちな災害や厄病を鬼に見たてて追う儀式が豆まきです。

節分の翌日は立春、春の始まりを祝う日です。寒い冬に静かに内に鎮め、殖やした生命エネルギー。草木の芽が“発”出づる時、春立つ日の到来です!!

【建国記念の日】二月十一日は、日本の国の

誕生日(紀元節)。二六八二年前、初代の神武天皇が奈良県の橿原で天皇の位につかれ、「日本の国は、天照大御神からいただいた国なので、その徳に応え、正しい心をひろめ、全世界が一大家族のように仲良くしましょう」という建国の理想(目標)をのべられました。国旗日の丸を揚げて、お祝いしましょうね。

和歌コーナー

きれいだな もみじのはっぱ

おうちのまえ あかやみどりが おちてきた

年少 N・Y

☆もみじのはっぱがおちてきて、うれしかったね。

しめなわを かわいくつくった

たのしかった まつがいたかったよ

どこにかけるかな

一年 N・Y

☆工夫して、すてきなお正月かざりができました。

てらこ屋で お正月かざり 作ったよ

まつぼっくりや つるをかざった

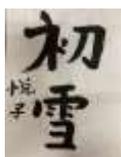
三年 T・Y

☆つるをとばす発想はすばらしいですね。さすが。

習字でね 「初雪」という字を書いた

バランスや大きさ むずかしかった

五年 N・E



☆お手本を見ながら、集中して書きましたね。

今月の言葉

万葉集 第二十・四五一六

おおとものやかもち 大伴家持

あらた 新しき

年の始めの

初春の

今日降る雪の

いや重け吉事

(大意)

新しい年の始めの初春、しんしんと降る雪が、重なり積もるように、いよいよ重なれよ、めでたき事が。

「万葉の世界と精神」より

次のなでしこ寺子屋は

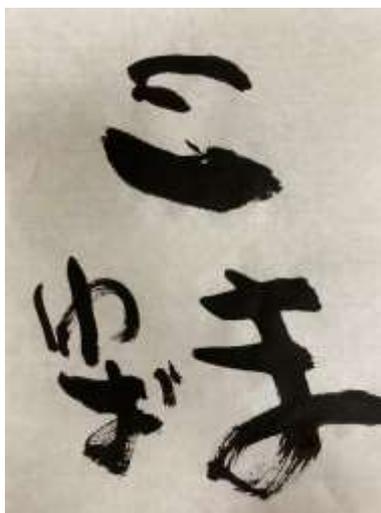
二月二十六日(土) 六階六〇一室です。

お楽しみに♪



1年 N・Y

葉っぱをよく観察して、葉脈の先までとても上手にかけていて感心しました。



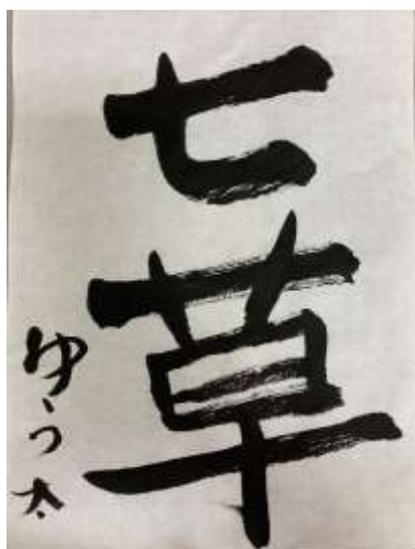
年少 N・Y

「ま」の曲がり方が、上手に書けました。止まりもよくできています。



年少 N・Y

筆を立てて、自由に楽しく葉っぱがかけました。縦の葉脈が生き生きしています。



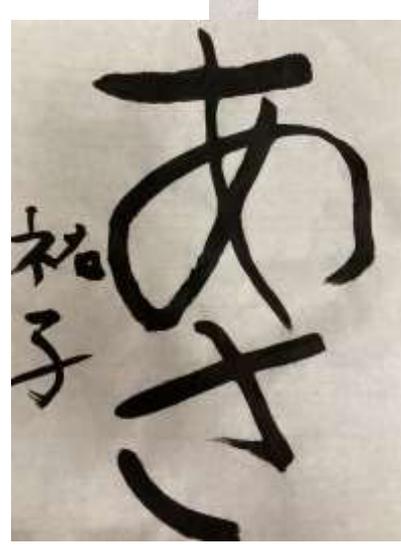
3年 T・Y

「七」が特に力強いです。半紙いっぱい、生き生きと勢いよく書けました。



3年 T・Y

力強く葉っぱも葉脈もかけています。中心から先の方へ流れている方向もよく見てかけました。



1年 N・Y

空間が広く、伸び伸びとしています。明るく、気持ちの良い作品です。

5年 中村 悦子
中心が通り、しまりのある整った作品です。線質がきれいで、気持ちがよいです。

葉っぱも中心から葉脈が伸びているのをよく観察してかいています。筆を立て、線があたたかい。

